



## プロジェクト名称

### 旧山古志村復興支援活動団体

## 活動状況報告&活動写真など【活動期間:2011年10月1日~12月31日】

### ① 10月23~24日 やまこしありがとうまつり

平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震による全村避難から、3年に及ぶ避難生活と生活再建に向けた村民たちの努力により、再び山古志村に帰ってくる事ができた。震災を忘れないために、そして多くの支援に対する「ありがとう」の気持ちを伝える大切な日として、毎年10・23に追悼式が行われている。

私たちはこのありがとうまつりの運営補助として参加。

午前中は各地域にある直売所や営業所など12店舗が集まり、山古志の食材を提供する「ありがとう広場」が行われ、来訪者と住民でにぎわう。午後からは追悼式に向けた会場準備で小中学生や村のお母さん方と一緒にキャンドルを並べたりマイクや舞台の設置などの手伝いをした。あいにくの雨天により一時はセレモニーが中止になる動きもあったが、開始時には雨も上がり、無事に行うことができた。

地震発生時の17時56分に黙祷、来賓者挨拶や、小中学生による呼びかけと「ありがとうの歌」の合唱があり、式の最後には参加者全員によるバルーンリリースが行われた。追悼式の後はお母さん方の手作り、地元名物のかぐら南蛮をつかった山古志汁が無料でふるまわれ、盛り付けや提供の手伝いをした。

この日1日は自然災害の恐ろしさや、命の大切さ、そして村の人がどれだけ山古志村を愛し、たくさんの人に感謝をしているかということが心に響き、再度考えさせられた。



会場準備



つなごう山古志の心



垂れ幕



東洋大学ボランティアサークル



小中学生の合唱



キャンドル①



キャンドル②



山古志汁のふるまい



仕事終わりの一杯



前回作成したアルパカ椅子



油夫のアルパカ牧場

## ② 11月19～20日 現地調査

先輩方からの引き継ぎがあり、新メンバーも加わったため、もう一度山古志村の現状や問題点を確認し、来年度の活動方針を考える。

現在私たちの活動は山古志村全体をみて、たくさんの活動をしている。アルパカ牧場、山の野菜など、地域のPRデザインを提案し実現すること、各種式典・祭事への協力・参加により伝統継承の支援をすること等である。毎回村の人からはたくさんの評価をいただき貢献できているのだが、どの活動も次につながらず、継続して発展させられていないということが私たちの団体の現状である。

そこで、来年度からは何か特定の活動に焦点を絞ってじっくり時間をかけ、将来の山古志村に残っていくような活動を目指す。今回のフィールドワークはこれからの活動のヒントになるものを見つけ、メンバー全員が共通認識をもつことが目的であった。



支所での打ち合わせ



闘牛場



アルパカ牧場



直売所



山古志牛



土砂で埋もれた民家



被災者の方の話



当時の様子が展示してある

## 今後の活動計画、目標、意気込みなど

前項でも述べたとおり、今後は特定の問題に焦点を絞り、その場限りではなく長く活動を続けていくこと。そして将来的に山古志村の財産となように団体としての一つの成果を上げることを目標に活動していきたい。  
具体的に現時点での活動の候補としてはアルパカ牧場を発展させ、地域のPR活動をすることである。冬季は積雪のため牧場は閉鎖されているので、春の再開に向けてミーティングを重ねていきたいと思う。